

令和7年度全国学力・学習状況調査結果 府中市立浅間中学校

【調査の概要】 調査日時：令和7年4月17日（火）、調査対象：中学校第3学年、調査方式：悉皆調査
調査事項：生徒に対する調査（ア：教科に関する調査〈国語、数学、理科〉・イ：質問紙調査）

学力調査の結果

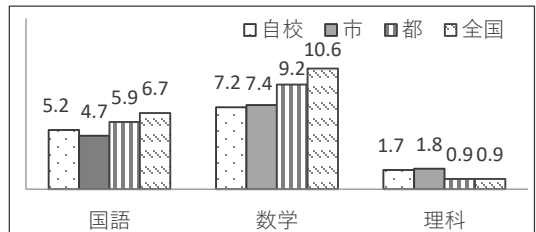
1 平均正答率(%)及び中央値(問)、IRTスコア

	国語(14問)		数学(15問)		理科(26問)
	平均正答率(%)	中央値(問)	平均正答率(%)	中央値(問)	平均IRTスコア
自校	62	9.0	61	10.0	52.2
府中市	61	9.0	57	9.0	53.0
東京都	57	8.0	53	8.0	50.6
全国	54.3	8.0	48.3	7.0	50.3

「IRTスコア」とは、問題の難易度を考慮して算出された「学力のものさし」で、500を基準として生徒の理解度を数値で示したものです。

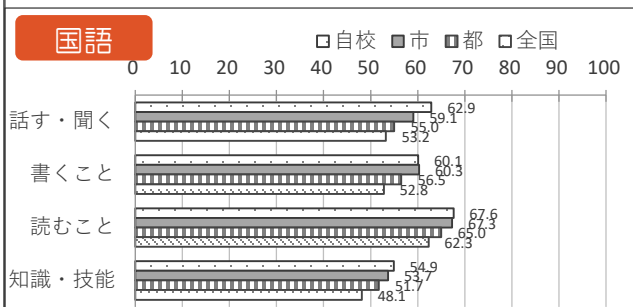
調査結果は、生徒が「どのような力を伸ばしているか」、「どのような力を十分伸ばしていないか」という具体的な成果と課題に着目し、生徒への教育指導の充実や学習状況の改善、授業改善に役立てます。

2 各教科の無解答率(%) (全設問の無解答率の平均値)



○平均正答率については、国語・数学ともに、全国・東京都を上回りました。理科の平均IRTスコアについても同様です。
○中央値については、国語・数学ともに、全国・東京都を上回りました。

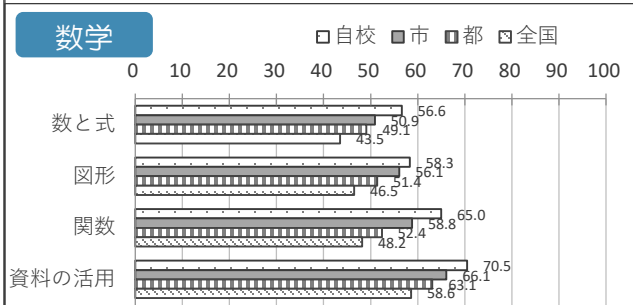
3 学習指導要領の領域別正答率(%)



4 成果や課題があった主な設問

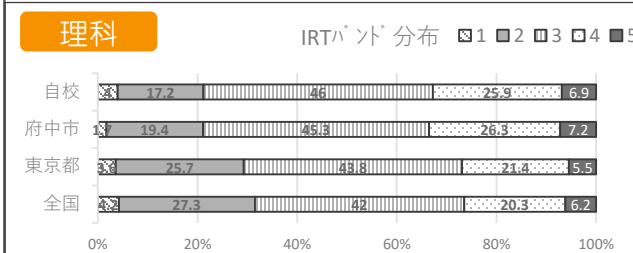
国語

○1二：ちらしに「会場図」を加えた目的を説明したものとして適切なものを選択する
正答率 自校 92.0% 都 86.4% 全国 82.5%
△2四：発表のまとめの内容をより分かりやすく伝えるためのスライドの工夫について、どのような助言をするか、自分の考えを書く
正答率 自校 32.0% 都 23.7% 全国 23.2%



数学

○1：1から9までの数の中から素数を全て選ぶ
正答率 自校 59.4% 都 35.8% 全国 31.8%
△6(2)： $3n$ と $3n+3$ の和を $2(3n+1)+1$ と表した式から、連続する二つの3の倍数の和がどんな数であるかを説明する。
正答率 自校 31.4% 都 32.7% 全国 25.7%



理科

○1(5)：塩素の元素記号を記述する
正答率 自校 59.8% 都 47.3% 全国 44.9%
△7(1)：小腸の柔毛、肺の肺胞、根毛に共通する構造と同じ構造をもつものとして適切な事象を判断し、選択する
正答率 自校 31.0% 都 36.0% 全国 34.8%

5 学力調査の結果についての成果と課題

○成果

国語・数学においては正答率がすべての領域で、理科においても5、4のバンドの割合が全国・東京都を上回っている。

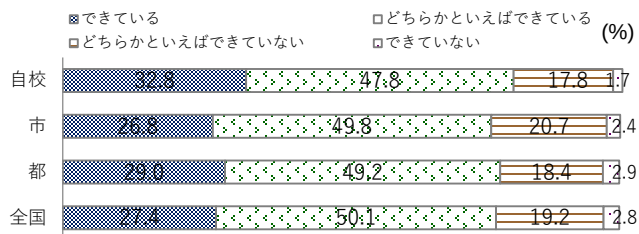
△課題

一般的に論理的に考えを構成し、判断・表現する力に課題が見られるので、考えを適切な根拠とともに伝える活動を授業に取り入れる。

質問紙調査の結果

主体的な学習の調整の視点から

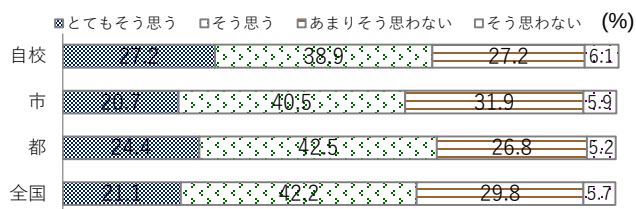
【16】分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができていますか



授業で、問題解決に向けて主体的に取り組んでいると考える生徒の割合は、高い傾向にあります。

ICTを活用した学習状況の視点から

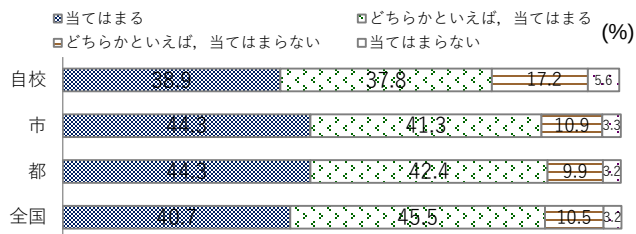
【29-3】あなたは自分がP C・タブレット端末などのI C T機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができますか



ICT機器を活用して情報や思考を整理することができると思う生徒の割合に、やや課題が見られます。

自己有用感、地域・社会との関わりの視点から

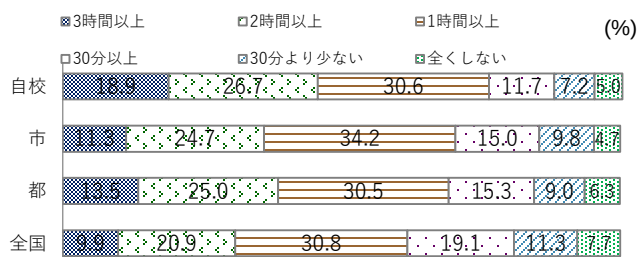
【5】自分には、よいところがあると思いますか



自分にはよいところがあると思う生徒の割合に、やや課題が見られます。

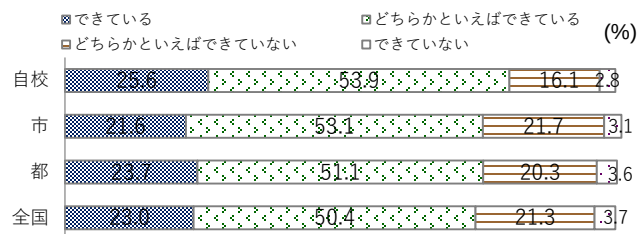
学校外の学習状況の視点から

【17】学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていますか



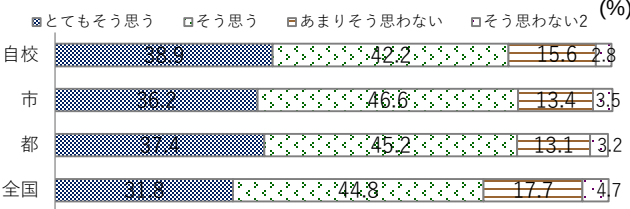
家で自分で計画を立てて勉強をしている生徒の割合は、高い傾向にあります。

【36】学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか



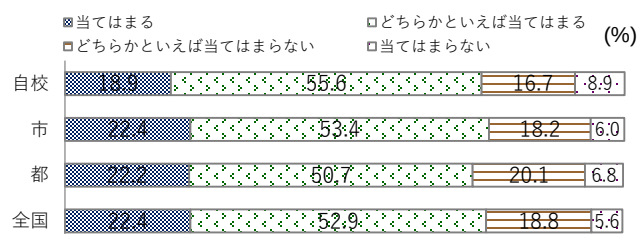
自己の学習状況を把握し、調整できていると考える生徒の割合は、高い傾向にあります。

【29-4】あなたは自分がP C・タブレット端末などのI C T機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができますか



ICT機器を活用して発表することができると思う生徒の割合は、高い傾向にあります。

【27】地域や社会をよくするために何かしてみたいと思うことはありますか



地域や社会のために役に立ちたいと考える生徒の割合に、やや課題が見られます。

今後の取組について

〈学校での取組〉

課題の解決に向けて主体的に取り組み、協働的な活動やI C T機器の活用により、自分の考えを深め広げられるような授業改善に、今後も継続して取り組みます。

〈家庭での取組についてのお願い〉

家庭で自主的に学習する習慣が定着するよう、お子様を支援してください。また、自己有用感や地域・社会へ貢献する意欲を高めるために、ご家族でよくコミュニケーションをとってください。